

ラムダチェーンの取扱

2.2.3 Rローラ (A, SA, EPatt付)

チェーンバイスでアタッチメントの付いていない側のプレート部を挟み、Rローラを支えるようにします。

(図9)

このときも、前後に適当な支え台を用意してください。

(図8)

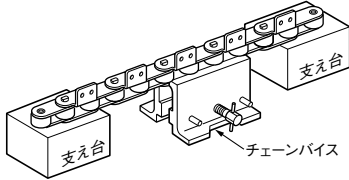


図8 チェーンバイスと支え台

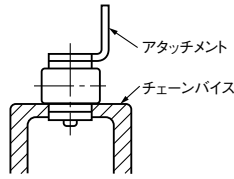


図9 チェーンをセットした断面

2.3 ピンを抜く

- (1) チェーンのサイズに合った一次パンチをグラインダで削ったピンの頭に当て、一次パンチの頭をハンマでたたきます。この際、外リンクの一对のピンが平行に抜けるように交互にたたきます。外プレートからピンが抜ける直前までたたきます。(図10)

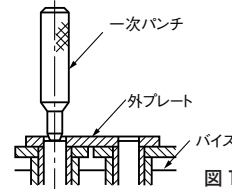


図10. 一次パンチでピンをたたく

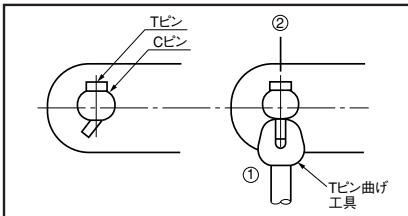
- (2) 二次パンチとハンマを用いて、リンクから一对のピンを抜きます。ピンを抜いた部分のプッシュが内プレートから抜けていないか、チェックしてください。もし、抜けたときは、その部分は使わないでください。

3. ラムダプラローラコンベヤチェーンの切り方

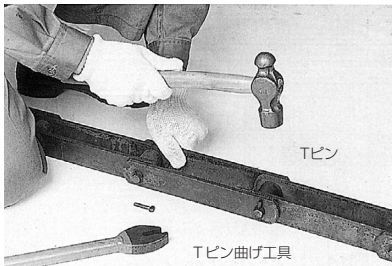
3.1 Tピンを抜く

「J」字形に曲がっているTピンは、「Tピン曲げ工具」(59頁参照)で真直ぐに曲げ戻した後で抜きます。

図11 Tピンを真直ぐにする



小サイズのチェーンの場合は、モンキーレンチで曲げ戻しが可能です。



写真は、Tピンを真直ぐにした後で抜いています。

安全上のご注意

- コンベヤチェーンにかかっている張力を取り除いた状態で作業をしてください。水平・垂直・傾斜したコンベヤ等、いずれの場合もチェーンブロックやワイヤでチェーンを保持し、切り継ぎ部にチェーン張力がかからないようにしてください。
- Cピンの抜き差しを容易にするために、プレートの穴やCピンの外径の追加加工は、絶対に行わないでください。
- Cピンをハンマでたたく時には、全面で当てるようにしてください。角部に当たると破片が飛散して危険な場合があります。安全眼鏡を必ず着用してください。

※ 写真のコンベヤチェーンは、実際とは異なります。(プラローララムダではありません。)

(注) 作業時、プラローラに衝撃がかからないよう十分ご注意ください。(衝撃でプラローラが割れる場合があります。)

3.2 2本のCピンを交互にたたく

- (1) Tピン側のプレートだけを外します。
- (2) したがって、一方の外プレートは、2本のCピンが圧入された状態(ピン差し状態と呼ぶ)で外してください。
- (3) 写真のように「当て工具」(59頁参照)を取り外す外リンクの前後の内リンクに当て、ハンマでTピン側のCピンを交互にたたきます。



写真は、一方のピンをたたいています。

写真は、他方のピンをたたいています。

3.3 外リンクを外す

外プレートと2本のCピンは、一体のままで取り外せます。

